

教育センター研修だより



南砺市教育センター

南砺市学校ネットルールづくり講習会

下記の通り、南砺市の小中学校の先生方を対象に、「南砺市学校ネットルールづくり講習会」を実施しました。

- | | |
|-------|--|
| 1 日時 | 平成30年6月29日（金） 14:00～16:40 |
| 2 会場 | 南砺市役所 井波庁舎 3階 多目的ホール |
| 3 講師 | 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 竹内 和雄 先生 |
| 4 参加者 | 34名
<ul style="list-style-type: none"> ・校長 3名（小学校） ・教頭 5名（小学校3名 中学校2名） ・生徒指導主事 11名（小学校6名 中学校5名）※1名児童会担当兼ねる ・児童会・生徒会担当 10名（小学校4名 中学校6名） ・希望者 5名（教務主任・情報教育・保健主事・養護教諭等） |
| 5 内容 | 学校ネットルールづくりに向けて欠かせないポイントについて、講義等を通して理解を深め、実践に生かす。 |

【研修会の内容】

1 スマホ・ネット利用 予想以上の低年齢化



子供が将来なりたい職業のランキングに、「ユーチューバー」が入っています。ユーチューバーの専門学校もできています。ネットはスマホだけではなく、ゲーム機でもでき、低年齢化が進んでいます。



＜子供たちの中で最近はやっているアプリ等＞知っていますか？

- ・スノー
- ・ミクチャ（チュープリ）
- ・ツイキャス
- ・ティックトック
- ・荒野行動

＜ネット 一日3時間以上の子供の傾向は＞

- ・12時より遅く寝る
- ・勉強に自信がない
- ・1分で返信する
- ・5分間隔でLINE等チェックする
- ・動画投稿している
- ・ネットでけんかをする
- ・面識のない人とLINEをする
- ・ネットで知り合い会う

面識のない人と好きなアイドルの交流サイトで知り合い、コンサート会場で会うというようなこともあります。

僕を見て
私を見て...

動画や画像をアップし、トラブルに巻き込まれるケースもあります。





LINE等での言葉の行き違いから、いじめに発展するケースも多くあります。誰がいじめの加害者なのかが分からないように、ネット上で巧妙にいじめが行われるケースも増えていきます。いじめを原因に自殺者も出ている現状です。

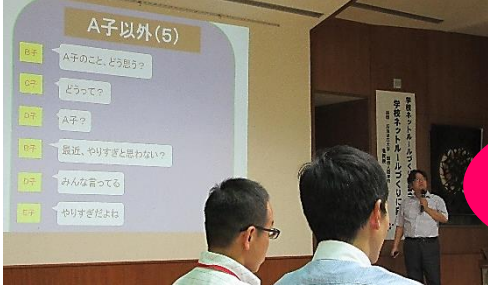
ネットトラブルにあっても、教師や親に話さないのはなぜ？

- 「だってどうせ知らないし…」
- 「だって暴走するもん…」
- 「だって聞いてくれない」
- 「だって自分の言いたいことだけ言う」
- 「だって声大きいからしんどい」

**本当は
聴いて
ほしい…**

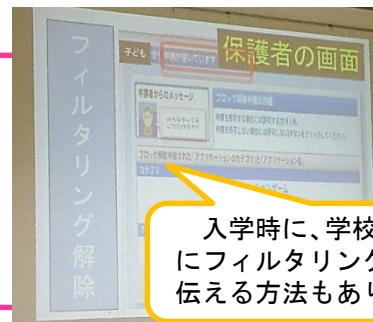
**ネットの問題は
心の問題**

**加害者・被害者
早期発見・早期対応**



まずは大人の協働から

- 言葉かけ
「いつでも相談に乗るよ」「暴走しないからね」
「ネットについて知っている人を知っているよ」
- 「知っている人」になるために
 - ・ 犯罪被害⇒ #9110 富山県警→サイバー対策課等
 - ・ 金銭被害⇒ 188 最寄りの消費生活センター
- フィルタリングを掛け、保護者の管理の下で



入学時に、学校から保護者にフィルタリングの知識を伝える方法もあります。

子供がつくるネットルール

「他律」から「自律」へ

★ ネットの危険を回避するために、ネットリテラシー・モラルを高めましょう。
『保護者・教師から→先輩から→仲間から』『他律→自律へ』
子供たちのネットルールづくりの支援をしていきましょう。

<子供たちで ネットルールづくり 例>

- キャッチフレーズづくり
「もうちょっと それが長引き 悪影響」「文字だけじゃ ホントの気持ち 分からない」
- 「受験生のための『スマホ3か条』」づくり
- PR動画づくり

**子供が自ら考え、判断し、
行動していけるように**

参加者の感想より

- ・ 子供たちの現状を捉えた上で、自校の子供たち、保護者に合った指導を進めていくことの大切さを改めて認識できました。今後、職場での共通理解を図り、子供がいざという時“相談できる”先生、学校を目指していきたいと思えます。
- ・ 校区ごとのテーブルになっていたのも、小・中学校共通の話題でシェアリングできて、とてもよかったです。
- ・ ネットの危険性や自律できるように、サポートする必要性を感じました。学校に帰って、ネットルールづくりに向けてトライしてみたいと思えました。
- ・ ただネットルールをつくるだけではなく、「キャッチフレーズ」や「動画」をつくることも、子供が主体的にメディアについて考えるよい機会になることが分かりました。
- ・ 予想以上に私たち大人が知らないことが多かったと思います。知識として身に付けることも大切だと思えますが、それ以上に心を通わせるために、対話が必要であることが分かりました。
- ・ スマホの問題は心の問題であるということ。保護者との連携、小中の連携が不可欠であるので、大変ですが、粘り強く指導していきたいと思えました。

